

【第16号】(2017年1月18日)

地域からの地方分権改革推進研修会開催(11/24)

1月24日午後、町村会の主催としては全国で初めての取組として兵庫県民会館において地域からの地方分権改革推進研修会を開催し、県・市・町の職員ら55名が参加した。



冒頭、地方分権有識者会議の委員でもある戸田会長(多可町長)が「兵庫県は全国最多の提案件数であるが、町からの提案が少ない。ぜひ、地方からの分権・提案を積極的に行っていただきたい。」とあいさつを行った。

続く講演では、内閣府地方分権改革推進室岩間参事官より「地方分権改革の歩みと現状」について、地方分権改革の歩みと成果や、「地方分権における課題と今後の方向性及び提案募集方式にしたことにより、地方から提案を受けた内閣府と有識者会議が専門的な知識をもって各省と調整し提案の実現に結びつけられるようになったので、協力しながら取り組んでいきたい。」旨の説明を受けた。

また、浅田調査員(滋賀県職員)から提案募集方式のポイント、上林調査員(兵庫県職員)からは町村からの提案募集の状況等についての説明を受けた。

その後、県広域調整課綿井主幹より「地方分権改革に関する提案募集への対応について」県独自の取組についての説明及び全国町村会の久保行政部長より「地方分権推進に向けての取り組み」について説明を受けた。